



伊藤 洋文
(よねしろ会)

合併の検証報告と二ツ井地域局のあり方

質 合併して5年がたった今、その効果や内容を検証し、特集報告して政策課題解消に向けて検討しては。また二ツ井地域局に地域振興基金を利用し独自の予算で活性化を図っては。

答 合併の検証報告については、合併しなかった場合の仮定との比較は大変難しいと考える。検証手法があるかを含め検討していきたい。また、今後、二ツ井地域の活性化につながると思われる事業については、地域局に企画立案から予算執行まで一定の役割を持たせながら取り組んでいきたい。

美術展示館、歴史資料館の実現

質 総合計画に明示している美術展示館、歴史資料館は公共施設を活用しているがどこなのか。また第4庁舎跡に複合型の美術展示館を含む能代立ち七夕館建設構想を考えては。

答 文化財の保存・展示施設の必要性は認識しており、既存施設の活用を基本に検討していくとしているが、設置時期や場所等についてはまだ具体化していない。今後、まちづくり全体の中で設置時期や場所、整備手法について、財源も勘案しながら関係団体等を含め、さまざまな観点からの検討が必要と考えている。

その他の質問事項

- 震災後の能代港の利活用は
- 地震被災地の瓦れき状況
- 今後予想される水害の危機管理は



針金 勝彦
(平政会)

平成22年度の財政状況

質 平成22年度決算では生活保護費などの扶助費が増加しているが、常に厳しいと言われる財政状況の中で、市当局の努力もあり財政調整基金が増加している。現在の財政状況は。

答 平成22年度普通会計決算で、単年度収支は4394万7000円の黒字、実質単年度収支は9億1180万9000円の黒字となっている。また、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は85・3%で前年度より6・2ポイント減となっており改善している。同様に実質公債費比率や将来負担比率などの指標も改善している。

子供の安全・安心

質 通学路について児童生徒に危険箇所の把握をさせ指導することは必要だが、根本的な解決には結びつかないものと考えて。危険箇所の改善に向けての教育委員会の考え方は。

答 事故の未然防止を第一に考えた指導を継続していくとともに、教育委員会と学校だけでなく、家庭や地域社会との連携を強化していくことが児童生徒の安全を守る最も効果的な方策と考えることから、これまで以上に学校での安全指導の一層の充実と地域住民との連携や関係機関への働きかけにも努めていきたい。

その他の質問事項

- 震災による公共事業への影響
- 通学路の危険箇所の把握
- チャレンジショップ



信太 和子
(市民連合)

庁舎整備

質 議事堂問題が山場を迎え、議場として使用しない時は解体することを選択肢としているが、歴史的価値・市民の政治精神のよりどころを消し去ることに対する市長の思いはどうか。

答 議事堂は貴重な建造物であり、可能な限り保存活用したいが、将来的な財政負担を考慮すると、新たに相当の一般財源を必要とする活用方法に対しては、市民の理解は得られないと思うことから、議事堂として活用しない場合には、解体もやむを得ないと考えた。さらにさまざまな観点から検討を重ね、結論を出したい。

(仮称)イオンショッピングセンター

質 イオンは震災の影響は全体として軽微であり、最終利益は確保できるとしている。イオンから提示された出店計画見直し予定に対し、市の「重大な決断」とは何を意味するのか。

答 イオン側から開店時期、規模、業態の3項目の見直しの検討に入ると伺っているが、具体的な内容を示す資料の提示がなかったため、もしその内容が出店計画を容認した内容と大きな隔たりのあるものであれば、市のまちづくりにとってメリットがなくなることから、容認について再検討するということである。

その他の質問事項

- 北能代風力発電
- 大震災と原発事故
- 廃校施設・余裕教室の現状・利活用